

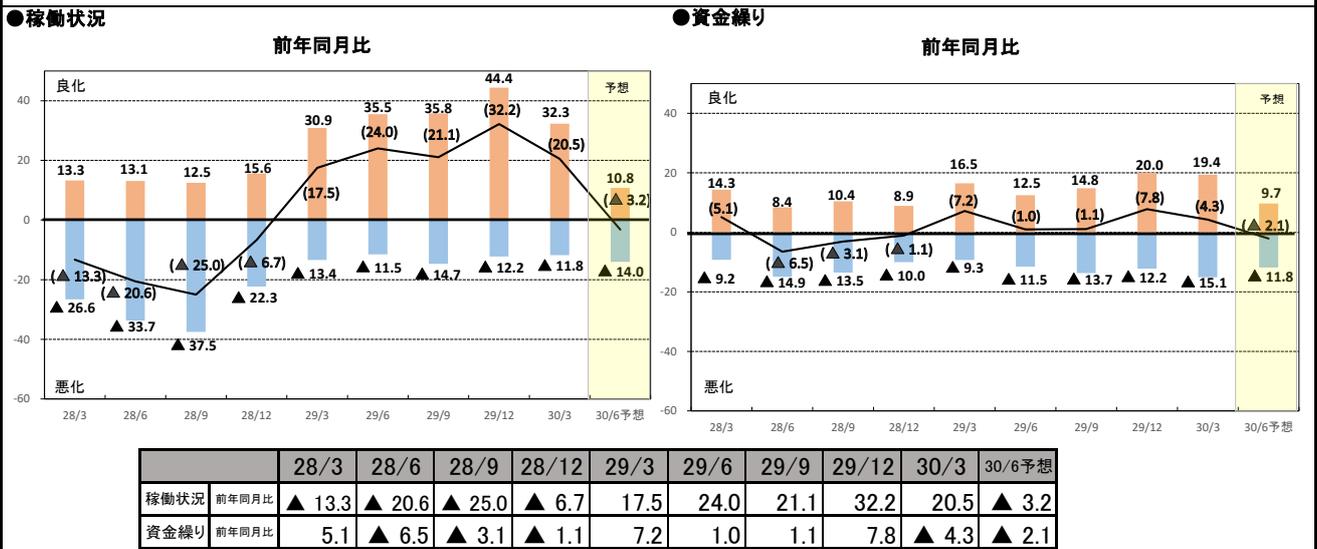
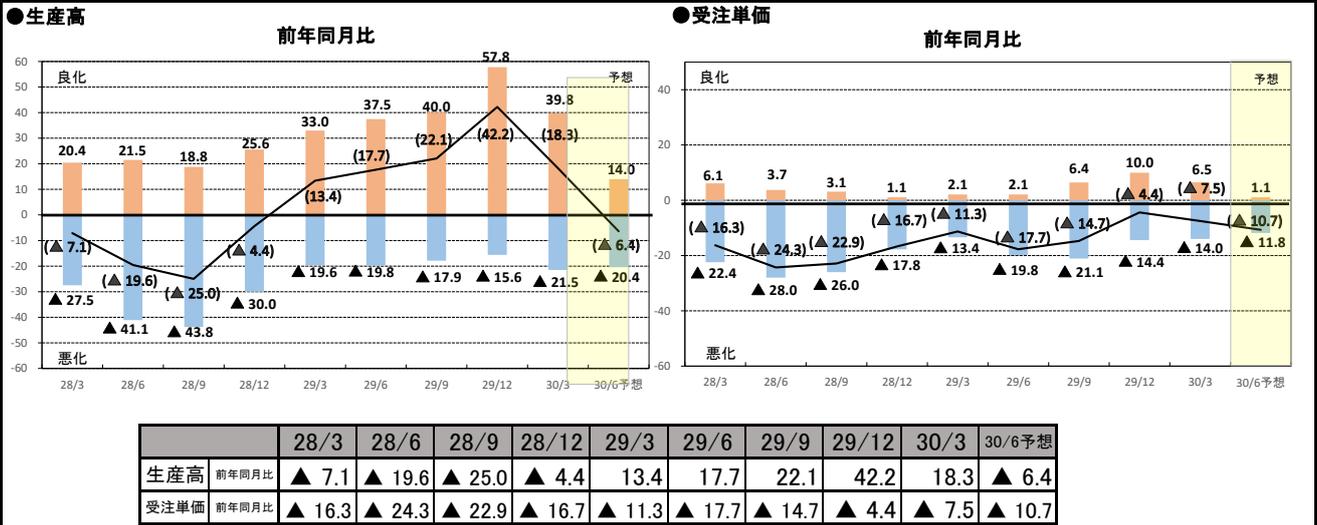
受注企業動向調査結果

-2018.4-

- 調査時点 平成30年3月調査(平成30年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業93社(回答率:62.0%)

＜業種内訳＞	
プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	5社
金属製品	17社
一般機械器具	20社
電気機器	18社
輸送用機器	8社
精密機器	10社
縫製	7社
計	93社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



- 概要(総合)
- ・生産高(前年同月比)DIは18.3で前回の42.2から23.9ポイント減で大幅悪化となった
 - ・受注単価(前年同月比)DIは▲7.5で前回の▲4.4から3.1ポイント減で横ばいとなった
 - ・稼働状況(前年同月比)DIは20.5で前回の32.2から11.7ポイント減の大幅悪化となった
 - ・資金繰り(前年同月比)DIは▲4.3で前回の7.8から12.1ポイント減で大幅悪化となった
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲6.4で24.7ポイント減の大幅悪化、受注単価は▲10.7で3.2ポイント減の悪化、稼働状況が▲3.2で23.7ポイント減の大幅悪化、資金繰りは▲2.1で2.2ポイント減の横ばいという予想になった。
 - ・その他自由意見として、受注引き合いは増加しているものの、「人員不足により生産ができない」、「コストが増加している」といった意見が多い。